

□■受験対策ミニ講座 11 号 2020□■（養成所ニュースプラス第 17 号）

11 月も下旬となりました。「仕事が忙しくて時間が足りないなあ」と呟いているあなた、「合格体験記」の先輩諸氏のアドバイスが参考になるかもしれません。当協会 HP をご覧ください。11 月 23 日は勤労感謝の日。働くことの意味を考えながら、「就労支援」に関する問題にチャレンジしてみましょう。

■Plus Quiz

【問題 11】雇用・就労に関連する用語の説明として、正しいものを 1 つ選びなさい。(28 回 143)

1. ディーセント・ワークとは、働きがいのある人間らしい仕事のことをいう。
2. ニートとは、就労に向けて職業準備中の若年者のことをいう。
3. ホワイトカラー・エグゼクションとは、事務職の労働時間の厳格な制限のことをいう
4. ワーク・ライフ・バランスとは、定年退職後に安定的な生活を図ることをいう
5. ワーキングプアとは、就労できないために貧困状態になることをいう

答えと解説は最後に記載してあります。

■Plus Column

【キーワードだらけの就労支援】

勤労を尊び生産を祝い、国民が互いに感謝し合う . . . 「勤労感謝の日」は、戦後に制定された「国民の祝日」のひとつですが、新穀を天地の神に供えて収穫に感謝するという民俗的な行事に由来するそうです。

「勤労」の同義語に「労働」があり、「労働権」と「勤労権」はほぼ同じ意味で使われます。一方、「労働者」は主に「肉体労働をする人」、「勤労者」は「勤労による所得で生活する人」という広い意味で用いられています。この種の言葉は、その国の労働政策とも絡んで、様々な言葉が生まれています。

「ワークフェア」という言葉は、アメリカの 1960 年代後半の政策に登場します。労働 work と福祉 fare の合成語で、公的扶助から脱却して、就労による自立を促す概念です。1990 年代後半、イギリスのブレア政権は「福祉から就労へ」として、若年層の雇用対策に力を入れました。「welfare for work」は「就労のための福祉」と訳され、日本にも様々な施策があります。生活困窮状態からの脱却を図るため支援は、福祉事務所やハローワークで行われているものの、いわゆる「たらい回し」が起りやすいことから、「ワンストップサービス」の必要性が言われています。

日本語の「就職」は、文字通り「職に就く」ことですが、「就職活動」のように、「新しく職に付く」の意味もあります。これに対して「就業」や「就労」は、「就業人口」「就業規則」や「就労許可」「就労ビザ」のように使われ、一定期間、職に就いている状態が含意されていると考えられます。

「就職した状態」を維持・継続するには、その基盤となる生活が安定的に営まれていなければなりません。「就職支援」の段階から更に、生活支援を含む様々な支援を意味する「就労支援」が、ソーシャルワーカーの仕事であることを、「勤労感謝の日」にあたって確認しておきたいと思います。

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686

【Plus Quiz 答えと解説】

用語についての知識は、現代社会と福祉や社会理論の科目でも出題されます。

1. ○decent work は、ILO 国際労働機関が 1999 年に提唱しました。
2. ×NEET は、英国の労働政策から生まれた言葉で、教育も訓練も受けていない無業の若者のことです。
3. ×ホワイトカラー・エグゼクション(WE)は、労働時間と賃金の関係を切り離すための政策用語で、高度な専門的知識を要する業務が対象とされています。
4. ×ワーク・ライフ・バランス(WLB)は「仕事と生活の調和」の意味です。

5. ×working poor は、フルタイムで働いても貧困から抜け出せない「働く貧困層」を指す言葉です。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus